



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月28日

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社
コード番号 6023 URL <http://www.dhtd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 佳伸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 水科 隆志

TEL 06-6454-2331

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	14,078	20.8	436	352.5	570	320.2	475	136.2
2022年3月期第1四半期	11,656	8.1	96		135		201	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 657百万円 (242.5%) 2022年3月期第1四半期 191百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.04	
2022年3月期第1四半期	6.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	89,855	43,114	47.9
2022年3月期	89,268	43,069	48.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 43,074百万円 2022年3月期 43,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	24.1	200	38.3	200	67.6	200	66.6	6.27
通期	65,000	12.8	2,700	29.0	2,700	7.7	2,200	11.8	69.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	31,850,000 株	2022年3月期	31,850,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	385,335 株	2022年3月期	93,335 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	31,631,523 株	2022年3月期1Q	31,725,659 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年6月30日)における我が国経済は、経済活動の再開による持ち直しの動きが見られたものの、日米金利差拡大を背景とした円安の進行、ロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの高まりや原油・原材料価格の高騰等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、世界経済におきましても、防疫と経済活動の両立が進む中で、中国ではゼロコロナ政策による都市のロックダウンが消費や生産を停滞させており、さらにウクライナ情勢の悪化に伴う供給網の混乱に加え、需給の不均衡がインフレを加速させる等、複合的な要因が絡んだ不安定な状況が続いております。

当社の主要な販売先である造船・海運業界につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要の先行きには不透明感はあるものの、コンテナ船建造ラッシュが継続しております。また、人流制限等で停滞していた東南アジア地域が復調する等、メンテナンス需要も好転しております。

このような企業環境下、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,078百万円(前年同四半期比20.8%増)となり、利益面におきましては、営業利益は436百万円(前年同四半期比352.5%増)、経常利益570百万円(前年同四半期比320.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は475百万円(前年同四半期比136.2%増)となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

<内燃機関部門>

イ) 船用機関関連

機関売上およびメンテナンス関連の売上が増加したこと等により、売上高は12,256百万円(前年同四半期比25.4%増)、セグメント利益は1,204百万円(前年同四半期比43.9%増)となりました。

ロ) 陸用機関関連

機関売上が減少したこと等により、売上高は804百万円(前年同四半期比18.9%減)、セグメント損失は286百万円(前年同四半期は285百万円のセグメント損失)となりました。

従いまして、当部門の売上高は13,060百万円(前年同四半期比21.3%増)、セグメント利益は918百万円(前年同四半期比66.5%増)となりました。

<その他の部門>

イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、販売数の減少により売上高、セグメント利益とも減少となりました。

ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高は微増となり、セグメント利益は減少となりました。

ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも増加となりました。

ニ) 精密部品関連

精密部品関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも増加となりました。

従いまして、当部門の売上高は1,018百万円(前年同四半期比14.1%増)、セグメント利益は123百万円(前年同四半期比25.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の部では、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ、742百万円増加し、27,888百万円となりました。また、棚卸資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,263百万円増加となりました。一方で、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、受取手形、売掛金及び契約資産が前連結会計年度末に比べ、2,240百万円減少となりました。その結果、資産の部合計については、前連結会計年度末に比べ、587百万円増加し、89,855百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計が前連結会計年度末に比べ、692百万円増加となりました。一方で、短期借入金と長期借入金の合計は、約定返済等により、274百万円減少となりました。その結果、負債の部合計では、前連結会計年度末に比べ、541百万円増加し、46,741百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金は、配当金の支払476百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益を475百万円計上し、前連結会計年度末と同水準の38,393百万円となりました。また、自己株式につきましては、自己株式取得により135百万円減少となりました。一方で、為替換算調整勘定につきましては、前連結会計年度末に比べ、155百万円増加しました。その結果、純資産の部合計では、前連結会計年度末に比べ、45百万円増加し、43,114百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末から0.3ポイント下落して、47.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年4月28日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,146	27,888
受取手形、売掛金及び契約資産	18,336	16,095
棚卸資産	12,685	14,949
その他	1,896	1,976
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	60,058	60,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,133	9,005
機械装置及び運搬具（純額）	5,792	5,584
土地	5,084	5,084
建設仮勘定	525	709
その他（純額）	777	761
有形固定資産合計	21,314	21,144
無形固定資産	628	575
投資その他の資産		
投資有価証券	2,707	2,825
繰延税金資産	4,096	3,986
その他	474	430
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	7,267	7,232
固定資産合計	29,209	28,952
資産合計	89,268	89,855
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,777	6,913
電子記録債務	5,502	6,058
短期借入金	4,440	4,451
リース債務	309	266
未払法人税等	869	121
賞与引当金	671	238
役員賞与引当金	35	11
未払費用	5,050	5,343
その他	2,474	3,558
流動負債合計	26,132	26,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
固定負債		
長期借入金	9,871	9,585
リース債務	271	246
役員退職慰労引当金	34	37
退職給付に係る負債	7,216	7,230
資産除去債務	194	195
その他	2,478	2,482
固定負債合計	20,066	19,777
負債合計	46,199	46,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,173	2,173
利益剰余金	38,393	38,393
自己株式	△43	△178
株主資本合計	42,957	42,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295	308
繰延ヘッジ損益	△7	△21
為替換算調整勘定	97	252
退職給付に係る調整累計額	△313	△287
その他の包括利益累計額合計	72	252
非支配株主持分	39	40
純資産合計	43,069	43,114
負債純資産合計	89,268	89,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	11,656	14,078
売上原価	9,282	10,862
売上総利益	2,374	3,216
販売費及び一般管理費		
販売費	1,724	2,174
一般管理費	553	605
販売費及び一般管理費合計	2,277	2,779
営業利益	96	436
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	26	15
持分法による投資利益	25	17
為替差益	—	88
業務受託料	10	26
貸倒引当金戻入額	1	0
雑収入	13	11
営業外収益合計	78	161
営業外費用		
支払利息	21	22
為替差損	14	—
雑損失	3	5
営業外費用合計	39	28
経常利益	135	570
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	125	111
特別利益合計	125	111
特別損失		
固定資産廃棄損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	259	679
法人税、住民税及び事業税	104	104
法人税等調整額	△46	97
法人税等合計	58	202
四半期純利益	200	477
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	201	475

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	200	477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	12
繰延ヘッジ損益	-	△13
為替換算調整勘定	8	74
退職給付に係る調整額	△42	26
持分法適用会社に対する持分相当額	39	81
その他の包括利益合計	△8	179
四半期包括利益	191	657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193	655
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,772	991	10,764	892	11,656	—	11,656
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,772	991	10,764	892	11,656	—	11,656
セグメント利益又 は損失(△)	837	△285	551	98	650	△553	96

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	12,256	804	13,060	1,018	14,078	—	14,078
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,256	804	13,060	1,018	14,078	—	14,078
セグメント利益又 は損失(△)	1,204	△286	918	123	1,041	△605	436

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期増減率	
				%
内燃機関部門	馬力			%
船用機関関連	254,607	12,256		25.4
陸用機関関連	126	804		△18.9
その他の部門	—	858		16.9
合 計		13,918		21.1

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数 量	金 額	前年同四半期増減率	数 量	金 額	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	馬力		%
船用機関関連	322,981	16,871 (10,091)	△5.0	1,891,219	47,609 (25,185)	45.3
陸用機関関連	39,512	3,067 (732)	13.0	131,565	7,820 (745)	21.1
その他の部門	—	1,022 (—)	49.1	—	762 (—)	18.0
合 計		20,962 (10,823)	△1.0		56,192 (25,931)	40.9

(注) ①金額は、販売価格によっております。

② () 内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数量	金額	輸出比率	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	%
船用機関関連	254,607	12,256 (7,907)	64.5	25.4
陸用機関関連	126	804 (—)	—	△18.9
その他の部門	—	1,018 (—)	—	14.1
合 計		14,078 (7,907)	56.2	20.8

(注) ① () 内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

アジア (74.0%)、欧州 (15.8%)、中南米 (5.3%)、北米 (4.1%)、その他 (0.8%)

③「その他の部門」には精密部品関連 (435百万円)、産業機器関連 (423百万円) および不動産賃貸関連等 (160百万円) を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。